

大阪市会本会議「傍聴記」

昨日 18 日 14 時から、大阪市会本会議を傍聴した。写真は傍聴者に配布された資料「大阪市会」から。4 月の選挙で市長と市議が選出され、新しい体制の大阪市議会のスタートであり、議長と副議長、市会運営委員長などが選出された。

写真のように定数 81 のうち、大阪維新の会が 46 人と過半数を占めており、次いで公明党 18 人、自民党・市民クラブ 11 人、自民党・市民とつながるくらしが第一 4 人、共産党 2 人であり、3 月までとは議席と顔ぶれに大きな変化があった。

傍聴席から見てみると、維新議員が議場真ん中にドカンと、多くの議席を占めているのを実感する。傍聴に来た人は、初めて来た人や維新議員の支持者らしき人が多かったようだ。選挙後の市会はこのものだろうか。いつもと違った騒がしい雰囲気であり、なんだか居心地が悪かった。

会期は 6 月 9 日まで。議員定数の削減も最終日に議決されるらしい。写真の 24 区別の市会議員の定数のうち、定数 3~6 の 11 選挙区で各 1 ずつ減らす条例改正案を維新は提出するようだ。まさに少数会派を切り捨てる削減案である。大阪市議会はますます行政の「追認機関」となり、大阪維新の会という地域政党の「翼賛議会」になってしまうのではないかと、最前列で傍聴していて、だんだんと腹が立ってきた。

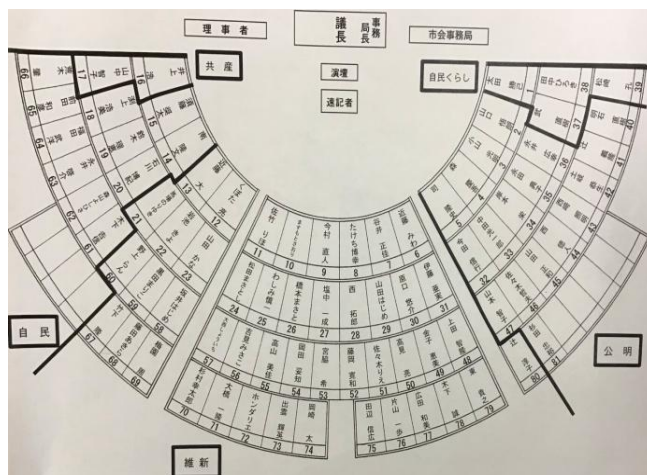
横山市長の就任挨拶にも腹が立った。聞き取りにくかったが、子育て支援や教育など、総花的に政策を並べるばかりで、メリハリに欠けていた。一方で府市一体の成長戦略、夢洲での万博や IR カジノには力をこめていた。

「維新政治」のもと、橋下・吉村・松井とつづいてきた大阪市長。これからも、横山市長と維新議員の動向をチェックしていきたい。

コロナ禍で傍聴が制限されてきたが、今回から解除された。委員会は 10 人まで傍聴できる。ネットでも視聴できるが、やはり臨場感ある「リアル傍聴」がよいのでは。



令和5年5-6月市会（定例会第2回）日程	
※日程は変更される場合がございます。	
5月	11 (木) < 初陣式 >
	18 (木) < 開会式 >
	19 (金) 本会議
	30 (金) 常任委員会
	31 (金) 常任委員会
6月	1 (木) 常任委員会
	8 (木) 本会議（一般質問）
	9 (金) 本会議（一般質問）< 閉会 >



(2023年5月19日)